

健康メディカル学部 理学療法学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

理学療法士の資格取得を視野に入れて、教養科目、専門基礎科目及び臨床実習を含む専門科目等を通じて、自ら学べる学習態度を習得させ、生涯教育が必要である医療系専門職の素養を身につけられるよう配慮しながら授業を行っています。

【教育の特色ある工夫】

- ・ 主体的なプロジェクト型学習を用いて「医療人としてのマナーや社会人としての自覚」から将来の仕事に必要な「臨床スキル」を、各担当教員によるきめ細かい学修指導を行っています。学科会議によりその動向を全教員で把握してフォローアップしています。
- ・ 実習室には低周波治療器や超音波治療器などの物理療法治療器、スリングセラピー装置などの運動療法機器、運動動作解析室には三次元動作解析装置、床反力計、足底圧分布測定システム、呼吸循環測定器、筋電計、超音波診断装置、脳血流測定装置などを設置しており、充実した演習・実習・研究が可能となっています。
- ・ 2年・3年次に配置している専門科目の理学療法治療学および治療学実習は、疾患の確認と評価・治療について座学・実習を通して理解を深め、臨床実習や卒後即戦力となるよう指導を行っています。また更なる理学療法テクニックを望まれる学生には理学療法技術を選択できる構成を築いています。
- ・ パラスポーツ中級指導員資格が取得できる養成校は限られており、健常者競技を含めボランティア経験の場を提供しています。
- ・ 多職種連携論を開講しチーム医療を推進するための基礎的学修を行っています。
- ・ 国際交流として本校からは毎年9月にタイ王国、3月米国への渡航研修を実施しています。